

平成31年度 新茶初取引

株式会社 しずおかちやいちば 静岡茶市場

問合せ先: TEL(054)271-4316

1. 実施日 平成31年4月19日(金)
2. セレモニー 午前6時30分～7時
3. 取引開始 県内茶取引 7時 県外茶取引 9時
4. 内容 (予定)

- (1) 新茶の呈茶サービス
- (2) 手揉保存会様による手揉茶の実演
- (3) 物産等の販売
- (4) 7時30分頃より餅まきを行う
- (5) 9時15分頃より本日の取引状況について記者会見を行う
- (6) 拝見場奥に水見場を設置する

※ 4月20日(土)以降の取引開始時間は以下の通りです。

【 県内茶取引 6時30分 県外茶取引 8時30分 】

平成31年 新茶初取引について

平成31年4月3日
株 静 岡 茶 市 場

平成31年の気象は、静岡地方気象台の発表によれば、1月の平均気温は前年より1.5℃高く2月の平年並の気温でした。

【1月の平均気温：平年 6.7℃、31年 7.6℃、30年 6.1℃、29年 7.2℃】

2月の平均気温は全体を通して平年より高く推移し、平年より2.3℃、前年より2.9℃も高い結果となりました。

【2月の平均気温：平年 7.3℃、31年 9.6℃、30年 6.7℃、29年 7.8℃】

3月の平均気温は平年より1.5℃高いものの前年より0.8℃低く、3月中下旬に寒の戻りがあり、一気に春めくことがなかった。

【3月の平均気温：平年 10.3℃、31年 11.8℃、30年 12.6℃、29年 9.3℃】

降水量は1月10.0mm（平年75.0mm）、2月84.0mm（同102.6mm）、3月84.0mm（同216.8mm）と、各月共に平年を下回る結果となった。

また、本年の桜の開花日は3月28日で、平年より3日遅く（前年より10日遅い）、例年開花する順番と比べても遅れた開花となりました。

尚、東海地方の1か月予報によると、4月上旬の気温は平年より低めで、その後平年並から高く推移し、晴れる日が多く降水量は少ない予想が出ていることから、萌芽から萌芽期に達するまでの生育が緩やかに進むことが考えられます。

その中、当社社員による産地巡回及びJA担当者からの聞き取り調査によると、冬場の気温が平年より高く推移したものの、雨量不足から新芽の生育が思うように進まず、前年よりやや遅く、平年並みの生育であるとの報告が多く寄せられたこと。また、茶商から大型連休前に少しでも多くの新茶を売り出したい。との声が多く上がっている。

以上の事を踏まえ、平成31年度当社新茶初取引は **4月19日(金)**(前年より1日遅れ)に実施することに決定致しました。

【近年の初取引日：平成30年4月18日、平成29年4月24日、平成28年4月21日、】

《参考》 気象と新芽との生育関係 （資料：静岡県農林技術研究所茶業研究センター）

1. 平均気温が12℃前後で萌芽に達する。
(萌芽とは新芽が霜かぶりと言われる皮から、2倍の長さに生育した状態である。)
(萌芽期とは、全芽数に対する萌芽した芽の割合が70%に達した時期である。)
2. 最高気温が高いと萌芽期が促進され、逆に最低気温が低ければ萌芽が遅延される。
3. 降水量が多くなることで萌芽期が促進される。
(春先の土壌の乾燥は、萌芽を遅延させ、芽数の減少に繋がる。)
4. 摘採期には萌芽期と4月の気象が大きく関与する。
(最低気温が高く、4月上旬の降水量が多いことで摘採期が促進される。)